

農研機構市民講座の ご案内

演 題：東南アジアにおける野菜の調査研究

講演者：斎藤 ^{あつし} 新（農研機構本部 主任研究員）

内 容

私たちが毎日食べている野菜には海外から導入されたものが多いです。例えば、ナスやキュウリは南アジアが起源であり、周辺地域である東南アジアにも味や形質に特徴がある様々なものが栽培されています。このような世界各地にある多様な遺伝資源は貴重であり、地道な調査研究が行われています。今回は、こうした活動の一例として、研究者らがラオスで行ったナスやトウガラシ等の野菜遺伝資源の収集や、ベトナムの研究機関と共同で行っているトマトの品種改良の取組みを紹介します。



(左) ラオスの市場
で販売されている
野菜



(下) ベトナムの研究
機関と共同で行って
いるトマト品種改良の
様子

日 時：平成 29 年 6 月 10 日（土曜日）9:30～10:30

参加費：無料（予約不要）

場 所：食と農の科学館

茨城県つくば市観音台 3-1-1

お問い合わせ：農研機構本部 連携広報部広報課（TEL：029-838-8980）

※農研機構（のうけんきこう）は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネームです。